



ひっじぐみ だより

野村直子

秋晴れの日が続く、日中は、気持ちの良い風が保育室の中に吹いています。
11月は、立冬を迎え、暦の上では、冬になるのです。

最近では、知的興味や関心が高まり、「なぜ」「どうして」といった質問を盛んにするようになってきました。このような質問ややり取りを通して、言葉による表現がますます豊かになってきているひっじぐみさんです。

♪ 雑巾がけ～きれいにする喜び・気持ち良さ～

「洋服が汚れたら着替える」「汚れたら洗う」「鼻水が出たら拭く」など、生活を通して、汚れたらきれいにする喜びやきれいになった気持ち良さを感じる事が増え、自分で気付くこともできるようになってきました。

最近では、雑巾がけをするだけでなく、雑巾がけすることで「部屋がきれいになった」「自分のロッカーをきれいにしよう」「雑巾がこんなに真っ黒!!」「ウッドデッキ汚れていたんだね」と子ども達の気付く姿を大七にしながら、引き続き楽しんで雑巾がけを続けていきたいと思えます。

両腕・両足をひんと伸ばして床に上体を支え、爪先で床を蹴り進む雑巾がけは、さまざまな動作を同時に行なう脳の統合力とそれに対応する全身の発達を示しています。幼児にとって雑巾がけは、大脳と小脳の指示を受ける全身がバランスよく発達している証と理解します。

著：春藤 公子：くらんぼ坊や世界～乳幼児の育ちゆくみちすい～雑巾がけの哲学



♪ 種..の不思議

今年の夏は、ひっじぐみさんが育てた 朝顔で前庭が華やかになりました。秋になり、みんなでプランターの片付けをしました。

そして片付けの途中... (保育士) 「実は、どこかに種があるんだ!!」

(ひっじ) 「どこ??」「これかな?」「これじゃない??」と土の中をほじくったりしていた子どもたち。

(ひっじ) 「分からな～いさ」

(必死に探しても見つからなかったの...)

(保育士) 「実は... これが種なんだよ」と教えると

(ひかり) 「えー!! 何で?? 下に植えたのに上にあるの??」不思議に思ったひかりちゃんの一言で

(ひっじ) 「本当!! 何だったろう?? おもしろいわ。不思議だね」

(保育士) 「今度は、みんなで調べてみようね」

みんなで会話を楽しみながら、種をとって、プランターの土を捨て、プランターを洗うことを自分たちの力でやりとげました。



おたんじょうびおめでとう

・しもつまがり てるしくん (11月15日)



一番に虫を見つけることが得意なてるしくん!!

「OOがいたよ」と捕えたり、角虫たりして、みんなに見せてくれます。みんなに見せてくれたから「てるしくん知っているよ」とてるしくんの知っていることをみんなに教えてあげたりしながら、お友達と過ごす時間を楽しんでいきます。